

授業科目	地域福祉政策特別演習 Community Social Welfare Policies			担当教員	坂本 雅俊・脇野幸太郎		
展開方法	演習	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
社会福祉計画を軸とした成熟社会を再形成するリーダーとなるためのプログラムを行う。旧来の行政計画の弊害を取り除く力量を養い、地域福祉をクリエイトするための地域分析、短期、中長期的な文化・思想継承の方法と科学的知見と思考力を身に付けることができる。							
観点	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
関心・意欲 ・態度	ホスピタリティの精神を市民生活に浸透させるためのリーダーとしての資質を修得できる。				講義におけるプレゼンテーション	20%	
思考・判断	地域マネジメントの方向性について、柔軟な思考と誤謬なき判断力、決断力を体得できる。				講義におけるプレゼンテーション	20%	
技能・表現	地域の独自性を支援するリーダーとして、プレゼンテーションの能力を用いて実効性のある企画・立案と実行ができる。				講義におけるプレゼンテーション	20%	
知識・理解	IT・人脈、資金集めと運用の知識を用いて、まちづくりに貢献する。その意義を理解できる。				レポート	40%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
レポート、講義におけるプレゼンテーションで評価する。							
授業の概要							
地域福祉政策の計画・実践は、行政を中心としつつも、国民一般・大衆の暮らしのなかから生まれる NPO 活動やボランティア、市民オンブズマン等も混在している。社会、文化、貧困政策、信仰等の変遷を理解した上で、観光、社会福祉の学問と関連させて考察を行う。そのために、歴史資料収集とレポートを作成し、それを元に討論を行う。 講義は、原則として1回目から8回目を坂本が、9回目から15回目を脇野がそれぞれ担当する。							
教科書・参考書							
教科書：必要に応じて指示する。 参考書：ミッジリィ『国際社会福祉論』中央法規出版 1999年 五十嵐敬喜『議員立法』三省堂 1994年							
授業外における学修及び学生に期待すること							
「立場」により意見を応用できるようになるため、授業外での市民活動に参画すること。 学内学会、大学院公開試問会に参加すること。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	演習を進めるための波長合わせ (坂本)	学生の知識の段階を踏まえて、演習の進め方を相談して決める。	地域福祉政策について、知識を整理して臨む。
2	地域福祉政策に関連する法的根拠① (坂本)	法的根拠を示しつつ現在の地域福祉政策について討論する。	関連する法令(条例等)を収集してくる。
3	地域福祉政策に関連する法的根拠② (坂本)	討論で出てきた課題について、更に深く考察するため議論する。	討議した内容をレポートする。予習として次回の課題を調べる。
4	地域福祉政策に関連する法的根拠③ (坂本)	議論で積み残された課題や問題について話し合い整理を行う。	討議した内容をレポートする。予習として次回の問題点を調べる。
5	政策立案のプロセス (坂本)	実態把握とアイデアをどのように集めるのか。	総合計画を作成する。
6	政策とは何か (坂本)	政策における予算制度・将来計画等と、いわゆる「市民感覚」のミゾを検討する。	政策における責任所在について復習する。
7	政策に携わる者の役割 (坂本)	市民を軸として、ボランティア、民生児童委員、町内会役員、地域住民等、また、学識経験者、そして行政、社会福祉協議会の役割	地方分権改革について復習する。政策を検索し発表準備を行う。
8	短期的政策と長期的政策課題 (坂本)	10年、30年の短期・中長期先の「社会」を、人口動態予測を土台として想定した政策づくり。	予習として条例について調べる。
9	地域包括ケアシステムの構築① (脇野)	今後の地域福祉政策の核の一つとなるであろう「地域包括ケアシステム」の構築について、その内容と方向性を確認する。	国が示す地域包括ケアシステム構築の内容について調べる。
10	地域包括ケアシステムの構築② (脇野)	地域包括ケアシステム構築の実際について、具体的な事例をもとに検討する。	地域包括ケアシステム構築の内容について、具体的事例を検索し、内容について調べておく。
11	ユニークな地域福祉政策の考察① (脇野)	全国の自治体における、ユニークな地域福祉政策について検討する。	ユニークな地域福祉政策について検索する。
12	ユニークな地域福祉政策の考察① (脇野)	全国の自治体における、ユニークな地域福祉政策について検討する。	ユニークな地域福祉政策について検索する。
13	ユニークな地域福祉政策の考察② (脇野)	限界集落における地域福祉政策について、長崎県黒島の事例をもとに検討する。	限界集落について調べる。
14	暮らしやすいまちづくり政策 (脇野)	長崎県の人口動態、特に県内からの若者流出の現状を把握したうえで、若者の生活場所の選択基準等について討論する。	九州から大都市圏への、人口移動のメカニズムについて調べる。
15	暮らしやすく活力があるまちづくり政策 (脇野)	暮らしやすい、活力あるまちづくりについて、総合的に検討し、まとめる。	レポートでまとめを提出。
16	口頭試問	演習を通して、学修できたことについて話し合う。	口頭試問での内容を、まとめとして総合的に復習しノートに記入する。